

平成27年度 林業試験場研究課題一覧

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
(1) 地域の特性に応じた森林づくり及びみどり環境の充実	ア 豊かな道民生活のための森林機能の高度発揮	① 森林の公益的機能の発揮のための研究開発	風況にあわせた風害対策により収量・収益を最大化する人工林管理技術の開発	25-27	環境 G	3
			酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査 (環境科学研究センター主管)	25-27	経営 G	4
			カンラン岩流域と森林形態が物質フローおよび陸域・沿岸域生物資源に与える影響の解明(北海道大学主管)	24-27	機能 G	5
			人工林の保残伐がもたらす生態系サービスを大規模実証実験で明らかにする (森林総合研究所保管)	25-29	機能 G	6
			北海道中標津町を対象とした吹雪発生予測システム活用と効果的な雪水防災対策への支援(防災科学技術4研究所主管)	25-27	道南支場	7
			湿地生態系における樹木を介したメタン放出:変動要因の解明と系全体フラックスの推定(東京農業大学主管)	26-28	機能 G	9
			海岸防災林の津波減衰機能を発揮させる林帯整備・管理方法の開発	25-27	森林環境部長	10
			保安林に対する強度間伐の実証的研究	25-27	環境 G	12
			防風林が飼料作物の収量に及ぼす影響の評価	26-28	環境 G	14
			防雪施設周辺における非平衡状態の吹きだまり形成過程の解明 (防災科学技術研究所主管)	25-27	道南支場	15
			北海道太平洋沿岸の海霧を考慮した気候的乾湿度に対する海浜樹木の環境応答	26-28	環境 G	17
			太平洋戦争後の日本海北部沿岸における砂丘荒地の状況と周辺住民の生活環境	26-27	環境 G	18
			グイマツ海岸林の密度管理図および地位指数曲線の作成	27-29	環境 G	20
			海岸防災林の力学モデルと成長モデルを組み合わせた津波抵抗性の評価	27-29	道南支場	21
	イ 生活環境の向上のためのみどり資源の活用	② 生物多様性に配慮した豊かな森林を保全・維持するための研究開発	森林管理と連携したエゾシカの個体数管理手法に関する研究 (環境科学研究センター主管)	24-28	保護 G	22
			北海道東部・風蓮川流域における流域保全対策が草地・沿岸域双方の生産活動に与える影響—森里川海の物質の環・地域住民の環の再生を目指して—	25-27	機能 G	23
			人工林において生物多様性保全と木材生産は両立できるか? —保残伐実験による検証と普及方法の提案—	25-27	保護 G	25
			シカの採食が森林植生に及ぼす不可逆的変化のプロセスの解明	25-27	保護 G	27
			林業機械の走行が林床植生発達と樹木の更新に与える影響の解明 (森林総合研究所主管)	25-27	環境 G	28
			森林内におけるエゾシカ捕獲のための効果的な給餌手法の確立	27-29	保護 G	30
			トドマツ根株腐朽被害地における次世代造林技術の開発	26-28	保護 G	31
			情報化学物質によるカラマツヤツバキクイムシのモニタリング技術の開発	26-28	保護 G	32
			分子データに基づくハバチ類幼虫の同定 (国立科学博物館主管)	25-28	副場長	33
			北方林における攪乱後の主要樹種の成長と死亡:長期ストレスとしての個体間競争の影響	26-28	経営 G	34
			食葉性昆虫の大規模食害による失業に対する樹木の応答—成長と木質形成への影響— (北海道大学主管)	27-29	経営 G	35
			獣害防止ネットにおける耐積雪性に関する研究	27-28	保護 G	36
			③ 身近なみどり資源の活用	農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築(法人本部主管) 北海道ブランドとなる“たらの芽”生産用タラノキの選抜とクローン増殖技術の開発	27-31	緑化 G
薬用系機能性樹木の生産効率化手法の開発(森林総合研究所主管)	27-28	緑化 G		38		
遊休農地の樹林化並びに小果樹生産地としての利用を目指した技術の開発	25-27	緑化樹センター所長		39		
石炭露天掘り跡地の初期成長促進を図る木本緑化技術の向上	25-29	緑化 G		40		
樹木内部欠陥を非破壊測定する装置の開発	27-29	緑化 G		41		

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P	
(2) 林業の健全な発展と森林資源の循環利用の推進	ア 森林資源の充実と持続的な森林経営による林業の振興	④ 資源管理の高度化のための研究開発	道産カンバ類の高付加価値用途への技術開発 (林産試験場主管)	27-29	経営 G	4 2	
			天然林の育成・資源保続に向けた樹種別資源量の評価	26-27	経営 G	4 3	
			アカエゾマツ人工林の間伐シミュレーションソフトウェアの開発	26-28	経営 G	4 4	
			道南地域における人工林施業支援ツールの開発	26-28	道南支場	4 5	
			天然更新したカラマツ・トドマツ幼樹の成長を促す施業方法の開発	26-29	道東支場	4 7	
			広葉樹林化技術の実践的体系化研究 (森林総合研究所主管)	26-27	経営 G	4 8	
			GISを活用した森林機能評価および区分手法の開発	27-29	道南支場	4 9	
			道南スギにおける径級別丸太供給可能量の将来予測	27	森林資源部長	5 0	
			⑤ 林業経営の持続的な発展のための研究開発	林業用優良種子の安定確保に向けた採種圃整備指針の策定	26-28	経営 G	5 2
				コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究 (森林総合研究所主管)	26-27	経営 G	5 3
	カラマツ・トドマツ育苗期における環境ストレス耐性の評価	27-29		経営 G	5 4		
	地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築 (北総研主管)	26-30		経営 G	5 5		
	成熟化するトドマツ人工林材の用途適性評価と利用技術開発 (林産試験場主管)	26-28		経営 G	5 6		
	森林作業道の適正整備を支援するシステムの開発と普及	27		道北支場	5 7		
	収益性及び資源構成に基づく林業経営シミュレーションモデルの開発	25-27		経営 G	5 8		
	保残伐施業におけるフォワーダ集材作業の実証的研究	26-27		道北支場	5 9		
	千島系・樺太系グイマツの系統的ルーツの解明と育種利用の評価	27-29		経営 G	6 0		

* 太字は27年度から始まった新規課題